

万が一の原子力災害に備えて、市民参加の実動訓練を行います

# 新潟県原子力防災訓練

主催 新潟県 主管 柏崎市防災会議（事務局：柏崎市防災・原子力課）

閑防災・原子力課 TEL21-2323 FAX21-5980

とき

1月 25日 土  
8:00～16:00

1月 24日(金)には災害対策本部  
運営訓練を予定しています

防災行政無線、緊急速報メール、エリアメールで訓練をお知らせします



1月 25日(土) 8:30 から、全市一斉に防災行政無線と緊急速報メール・エリアメールで「即時避難区域(PAZ)の避難指示」と「避難準備区域(UPZ)の屋内退避指示」をお知らせします。緊急速報メール・エリアメールを受信したくない方は、あらかじめ携帯電話やスマートフォンの電源を切ってください。

## PAZ 即時避難区域

原子力発電所からおおむね 5 km 圏内の地区（高浜、荒浜、松波、西中通、中通、南部、二田）

### 1 住民避難訓練



バス避難のイメージ

△ポイント

模擬マイナンバーカードを使  
います



- 模擬マイナンバーカードを使用した市の受け付けシステムによる受け付け訓練
- 複合災害（大雪・地震）を想定して一時集合場所を変更し、防災行政無線により周知

地震により一時集合場所（バス避難集合場所）が被災し、使用できない場合を想定。一時集合場所を使用可能な他施設に変更し、避難者に防災行政無線で周知。避難先の糸魚川市までバスで避難します。

#### 対象

荒浜地区の訓練参加者（事前申込者<sup>※1</sup>のみ）

※1 荒浜地区で事前に参加調整した方。

訓練に参加しない人も！

#### 避難経路を確認しましょう

原子力災害時、市からの指示により避難します。この機会に避難経由所などを確認しましょう。

詳細はこちら▶



県内で災害の発生または発生の恐れがある場合など、主催者が訓練の継続・実施が困難と判断した際には、訓練の全部または一部を中止します。

原子力発電所からおおむね 5 ~ 30 km 圏内の地区 (PAZ の 7 地区を除く市内全ての地区)

## 2

## 屋内退避訓練



8:30 に、防災行政無線と緊急速報メール・エリアメールで訓練開始をお知らせします。各自が自宅などで 30 分程度屋内退避訓練を行ってください。屋内退避は、放射線による被ばくの影響を低減させるために有効な手段です。

## 対象

PAZ の 7 地区を除く市内全ての地区の方

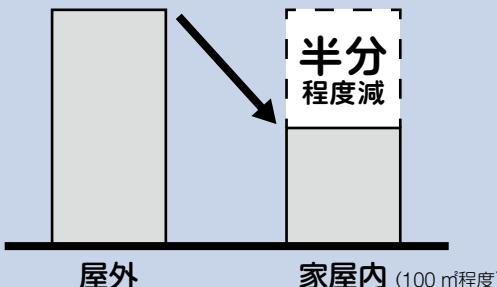
原子力災害時、まずは屋内退避です

Q

「屋内退避」は、どのくらい被ばくが抑えられるの？

A

100 m<sup>2</sup>程度の一般的な家屋内では、建物の気密性と遮へい効果により、放射線の被ばく量は半分程度低くなります。



## 3

## 住民一時移転訓練



▲避難退域時検査のイメージ

## △ポイント

新潟県防災 DX アプリを使用した避難者受け付け訓練です



## 北鯖石地区

- 積雪により自宅前まで福祉車両が行けない状況を想定した消防団・自主防災組織による要配慮者の避難支援訓練
- 複合災害（大雪・地震）を想定した一時集合場所以外でのバス乗車・車内での受け付け

## 田尻地区

- 実動組織（自衛隊）による道路・敷地除雪訓練
- 複合災害（大雪・地震）を想定して一時集合場所を変更し、防災行政無線により周知

## 対象

北鯖石、田尻地区の訓練参加者（事前申込者<sup>※2</sup>のみ）

※2 北鯖石、田尻地区で事前に参加調整した方。

定期的に受けていますか？

# 健康診査・がん検診を受けましょう

間健康推進課 TEL20-4211 FAX22-1077

健康維持・病気の早期発見のため、年に1回受診しましょう。

(乳がん検診・子宮頸がん検診は2年に1回)

定期的に受診すると  
メリットがたくさん!!

- 自覚症状のないうちに病気を早期発見できる
- 疾病予防・早期発見で医療費の負担を軽くすることができる
- 特定健診後の保健指導を利用することで、生活改善のサポートを受けられる

受診できる  
健(検)診▶



健(検)診の申し込みが  
始まります！

1月下旬に、各世帯へ令和7(2025)年度の健(検)診申込書をお送りします。忘れずにお申し込みください。

▶提出方法…2月21日(金)までに、郵送または市役所1階総合案内付近、元気館の投函箱へ。  
※12月下旬以降に転入した方、申込書が届かない方は、健康推進課へご連絡ください。



令和8(2026)年4月1日時点の年齢

| 市が行う健(検)診 | 対象者        |
|-----------|------------|
| 特定健診      | 40～74歳※1   |
| 一般健診      | 16～39歳     |
| 高齢者健診     | 75歳以上      |
| 胃がん検診     | 40歳以上      |
| 肺がん検診     | 40歳以上      |
| 大腸がん検診    | 40歳以上      |
| 乳がん検診     | 40歳以上の女性※2 |
| 子宮頸がん検診   | 20歳以上の女性※2 |
| 前立腺がん検診   | 50歳以上の男性   |
| 肝炎ウイルス検診  | 40～74歳     |
| 歯周病検診     | 20歳以上      |
| 人間ドック     | 40～74歳※1   |

※1：市国保加入者のみ　※2：2年に1回

来年度から  
予約制に変わります!!



混雑を避け、よりスムーズに受診できる

市が行う集団健(検)診(健康診査・がん検診)は、来年度から予約制に変わります。

予約方法・日程は、4月以降に順次お送りする受診通知書と併せてご案内します。

※意向調査を兼ねて  
います。必ずご返信  
ください。

## 無線技術の研究で、より快適な未来にチャレンジ!

## KEY PERSON

新潟工科大学 電子情報学系 准教授

さわだ けんすけ  
沢田 健介さん

「『電波』を使って人々を幸せにしよう」を研究テーマに掲げる新潟工科大学の沢田健介准教授。現在は、担い手不足や災害対策の観点から、農機・除雪車・水上ドローンの無人操縦技術と、ドローンやスマートフォンを使用した災害対策技術の研究を進めています。

子どもの頃からラジオやアマチュア無線、乗り物に興味があったという沢田准教授の好奇心が、今の研究につながっています。

### 興味がある分野で自由に研究できる、そんな環境が新しい発想を生み出す

沢田准教授は、長年神奈川県の企業の研究所に勤務していましたが、昨年早期退職し、新潟工科大学に准教授と



ヨットを通じて、他大学との交流も生まれています。(写真右端が沢田准教授、右から2番目は新潟工科大学・田邊学長)

して着任しました。

「会社員時代は利益を上げることが研究の目的でした。自分が本当にやりたい研究ができていたかというと、正直、そうとも言えません(笑)。今では自分が本当に興味がある分野で、自由に研究ができるので、どの分野でも楽しく研究を進めています。」

昨年から新潟工科大学で教鞭を取る中で、学生のアイデアに驚くことがありますと言います。

「学生が自由な発想で研究に向き合える環境は、新しいアイデアを生んだり、成果を出すまでのスピードが加速すると感じています。課題を見つけ、解決するまでの間には何度も失敗すると思いますが、学生たちはそのプロセスも成長するためのツールとして研究に励んでほしいと思います」と学生の成長を望むエールを送ります。

### 人口減少が進むこの国の未来に、無人操縦技術の研究が必ず役立つ

「『無人化』や『スマート化』という言葉に不安や抵抗を感じる人も少なからずいらっしゃると思います。そんな方々にも安心して利用してもらえる技術を

災害対策など、さまざまな分野で活躍する無人操縦の研究が、皆さんの生活に役立つことを信じています。



開発・研究することが、私たちの大きな仕事です。少子高齢化や人口減少が進む中、無人操縦技術は将来の日本に必要な研究だと考えています

目には見えない電波ですが、私たちの暮らしに直結している技術です。社会が抱える課題解決に向けて、沢田准教授は日々研究を進めています。

### 市民のみなさんに ひとこと

大学のヨット同好会の顧問としても活動しています。まだまだ人数の少ない会ですが、ヨットを通じて柏崎の海の美しさ、楽しさを学生たちに伝えたいと思います!



### 新潟産業大学からお知らせ 第7回柏崎学シンポジウムを開催しました

12月1日(日)に、本学にて第7回柏崎学シンポジウム「既存組織の機能アップ&市民共創による日常の豊かさをつくる!を考える」を開催しました。

本シンポジウムは地域活動をテーマに、第1部では地域からの活動報告、第2部ではパネルディスカッションが行われました。参加された皆さまは、地域活動に対する様々な取り組みについて、パネリストによる時にユーモアを交えたお話を楽しみながら聴かれていました。本シンポジウムが、地域活動の取り組みの推進に向けたきっかけになりましたら幸いです。



大学HP



### 新潟工科大学からお知らせ 科目等履修生を募集



大学HP

▼ 入学資格 / ●工学部=高等学校・中等教育学校を卒業した方、またはこれと同等以上の学力がある方  
●大学院工学研究科=大学を卒業した方、またはこれと同等以上の学力がある方

▼ 出願期間 / ●前期入学(4月1日～)=2月28日(金)まで  
●後期入学(9月下旬～)=8月29日(金)まで

▼ 授業料 / 1単位2万円×単位数

※テキスト代などにかかる費用は自己負担

▼ 出願手続 / 出願期間中に次を直接または郵送で新潟工科大学学務課(〒945-1195 藤橋1719)へ  
①入学願書(大学指定用紙) ②履歴書 ③医師の健康診断証明書 ④最終出身学校の卒業証明書と学業成績証明書 ⑤検定料5千円(指定口座へ振込)

▼ 問合わせ先 / 学務課 TEL.22-8101